

知識は 旅をする



館内のご案内（7）検索コーナー

県立図書館及び県内公共図書館等所蔵資料の検索ができます。

千葉県立東部図書館だより

2015年3月

第52号

■トピックス

▼利用者アンケートを実施しました

平成26年10月26日～11月8日の2週間、来館された皆様に利用者アンケートをお願いしました。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
→〈結果を掲載しました〉

▼展示コーナー

・「文豪の作品に挑戦！教科書掲載作品の作家」

展示期間
平成27年4月16日（木）まで

▼文学講座のご案内

『大日本国語辞典』を作った男 松井簡治
-銚子が生んだ国文学者、その生涯-（仮題）
講師 越川行雄氏
（松井簡治資料刊行会副会長）
日時 平成27年6月13日（土）13:30～15:30

▼資料紹介コーナー

・災害を考える-大切な命を守るために-

展示期間
平成27年3月19日（木）まで

携帯電話サイトURL <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>

ホームページURL <http://www.library.pref.chiba.lg.jp>

携帯電話機のQRコードリーダーでアクセスできます→



万葉びとの宴(講談社現代新書)

上野 誠／著 講談社

2014 [91112/479]



本書は、古事記や万葉集の中から「宴」をテーマにして和歌を紹介しています。宴を催す口実や宴の最中の歌も紹介されていますが、いかにスマートに歌を詠むかが大切で、時にはその人の運命をも変えてしまうことがあるようです。

和歌は貴族など限られた人達の歌で、気取っていて難しいのではと思っている方も多いようですが、要所要所で言葉の意味や解説を加えていてとても分かりやすくなっています。

「宴について考えることは、日本文化について考えることにつながってゆくはずだ。」と著者は記しています。

人と人とのコミュニケーションの大切さに宴というのも大事なのだと思わせる一冊です。

図書館ぶらり散歩 (38)

和を読もう —日本再発見—

商人道「江戸しぐさ」の

知恵袋

越川 禮子／著

講談社

2001 [38593/1]



「江戸しぐさ」は、商人が人間関係を工夫した生き方、商人道のことです。そしてしぐさは、相手を気遣う精神から身のこなしや言葉に表れます。

例えば、雨天の狭い道ですれ違ふとき、水滴が相手にかからないように互いに傘を外側へ傾ける「傘かしげ」というしぐさがあります。また、人に足を踏まれ謝られたら「こちらもうっかりいたしまして…」と穏便にすませる「うかつあやまり」というものもあります。このようなしぐさを自然にできる人こそが「江戸っ子」でした。

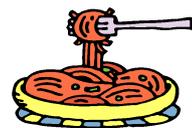
相手を思いやる江戸っ子精神に触れ、和の心を見直してみてもいいかもしれません。

麴・甘酒・酒粕の発酵ごはん

寺田 優・聡美／著 PHP研究所

2013 [C596/25]

利根川に面した千葉県神崎町の蔵元寺田本家は創業340年。「五人娘」「むすひ」「香取」など自然酒を造っています。本書では、24代目の優さんが、寺田本家の歴史、自然酒造りのこと、発酵のことなど、造り手の想いを語ります。また聡美さんが紹介する「発酵ごはん」は、砂糖の代わりに甘酒、塩の代わりに塩麴を使います。塩麴大根ステーキ、味噌けんちん汁、甘酒ケチャップのナポリタン、酒粕を使ったホワイトソースのマカロニグラタンなど合計36品。すべて昔から伝わる発酵食の知恵の結晶です。総勢12名になるという寺田本家食卓の極意、分けていただくことにしましょう。



和的

松田 行正／著

NTT出版

2013 [7021/65]



「カラオケ」と同様、「かわいい」はもはや日本人だけではなく、外国人にも通じる言葉となっています。なぜ「cute」ではなく「かわいい」なのでしょう。また、郵便マーク(〒)は最初別のマークが考えられていました。急きょ変更となったその理由とは…。西洋化が進んだのに、靴を脱ぐ文化が減りなかった理由は、意外にも土に対する日本人の考えが影響していたのです。

このように、本書では日本文化の魅力を、西洋と日本を対比しつつ、さまざまなエピソードを交えてわかりやすく紹介しています。ぜひ、お手にとって和を読み味わってください。

※[]内は資料の請求記号です。

歴史講座 戦国武将 松平家忠と東総 平成26年11月22日(土)

今回の歴史講座は『戦国武将 松平家忠と東総』という演題で、下総小見川城主であった徳川家の武将、松平家忠についての講演でした。講座の1ヶ月ほど前より中央博物館と連携をし、館内で「松平家忠日記」複製資料の展示や日記の内容についてのスライドショーを上映してきました。

講師には、千葉県立中央博物館の主席研究員で歴史学研究科長の内田龍哉先生をお招きし、83名の方が聴講されました。講演では、松平家の年譜や系図、『家忠日記』を引用しながら、当時の日常生活や社会情勢等を読み解いていきました。内田先生は、実際に家忠に関連する土地へ足を運び、遠くは愛知県に行かれて写真を撮影されたそうです。その写真や地図等をスライドにして説明をされました。『家忠日記』は、文章のほかに、家忠自身が描いた挿絵も描かれ、魅力の一つとなっています。連歌や俳句、幸若舞や茶道をたしなんでいた文化人としての家忠、また、城郭の普請や補修等の土木技術に才能を発揮していた家忠。このような武将が東総の地に生きていたことに、「これからも地元の歴史を勉強したい」、「あつという間の2時間で時間が足りなかった」「わかりやすい説明でよかった」など、多数の参加者からの感想が寄せられ、大変好評でした。



はつらっライフ講座 準備して安心！終活—相続・遺言・エンディングノート— 平成27年1月24日(土)

平成26年度より、「はつらっライフなび」コーナーを設置しました。歳を重ねても、はつらつとして元気に暮らすためのヒントとなる展示で、これまでに「健康」「趣味」をテーマとした本を紹介してきました。そして今回のテーマは「生活設計」。このテーマに関連し『準備して安心！終活』という演題で、はつらっライフ講座を開催しました。講師には、千葉県金融広報委員会金融広報アドバイザーの齋藤喜代美先生をお迎えし、36名の方が聴講しました。

相続に関する相談が年々増えていること、実際に遺言書を作成する際の手順や公証人役場での手続き、遺言書やエンディングノートの意義などを、豊富な資料を使って、実例や先生の体験談を挙げながらお話しくださいました。また、実際にエンディングノートを持ってきてくださり、大変有意義な講座であったと受講者から好評でした。

今回の講座に関係する資料リストは、千葉県立図書館 HP の資料検索→テーマ資料「展示で紹介した本(東部図書館)→「はつらっライフなび(生活設計・お金)」で見ることができます。そのまま予約していただくこともできますので、どうぞご利用ください。



「はつらっライフなび」コーナー
どうぞご利用ください

震災の記憶を後世に残す

～旭市防災資料館～

東日本大震災で大きな被害を受けた旭市に、旭市防災資料館が昨年7月にオープンしました。

この資料館は「震災の記憶を後世に残し、悲劇を繰り返さぬよう防災知識を身につけてもらう」ことを目的としています。津波被害のため閉鎖していた国民宿舎・旧「食彩の宿いいおか荘」の一部を改修したものです。

展示室では、写真や映像、実物などで、震災当日から復旧・復興までの道のりを分かりやすく展示・解説しています。



外階段を登り屋上避難所へ

この日、屋上避難所から臨む海は穏やかで、あの恐ろしい津波がやってきたとは信じられませんでした。震災の記憶を風化させないため、この防災資料館へ多くの方に訪れていただきたいと思いました。



支援メッセージ

目を引くのは、全国からよせられた支援メッセージ。大きなパネルいっぱいには貼られています。旭市の津波被害に対する関心の高さと、早く復興してほしいという、多くの方々の思いがこのメッセージから伝わってきます。

屋上は、津波緊急避難施設になっています。緊急時は外階段から屋上へ避難することができます。地上約11メートル、約600名を収容できる立派な避難施設です。

- ◆所在地 千葉県旭市萩園1437
*旧食彩の宿いいおか荘1階
- ◆電話 0479-57-6712
- ◆交通 **電車** JR総武本線旭駅より千葉交通バス銚子・双葉町行「食彩の宿いいおか入口」下車徒歩5分
*本数が少ないため、事前に確認をしてください。
車 国道126号線から県道30号線経由で飯岡海水浴場付近
- ◆開館時間 午前9時～午後5時
- ◆休館日 月曜日(月曜が祝日の場合は開館し、翌日以降で最初の平日が休館日)、祝日の翌日、年末年始
- ◆入館料 無料

■ 県立図書館の資料は、市町村立図書館などを通じて利用することもできます。

お近くの図書館、あるいは公民館図書室等の読書施設にご相談ください。

■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

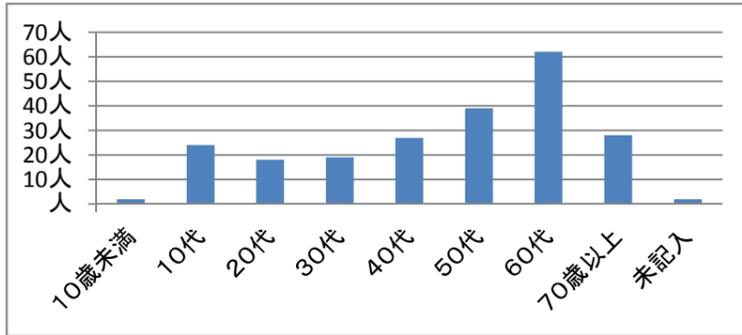
東日本大震災から4年が経ちます。昨年7月には、旭市内の仮設住宅が撤去され、津波被害の大きかった飯岡地域には防災資料館がオープンしました。人々の記憶を風化させないためにも、様々な媒体の記録を後世に残していく必要があります。ご協力をお願いします。

編集・発行：千葉県立東部図書館
〒289-2521
千葉県旭市ハの349
TEL0479-62-7070
URL：<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

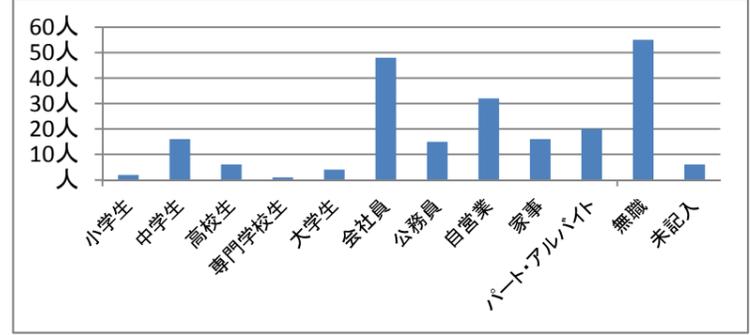
東部図書館 利用者アンケート集計結果

平成26年10月26日～11月8日に実施しましたアンケート調査の結果をご報告します。
アンケート回収枚数は221枚でした。アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

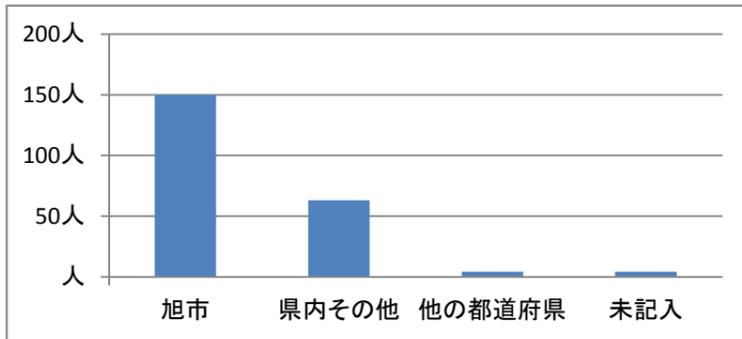
○年齢



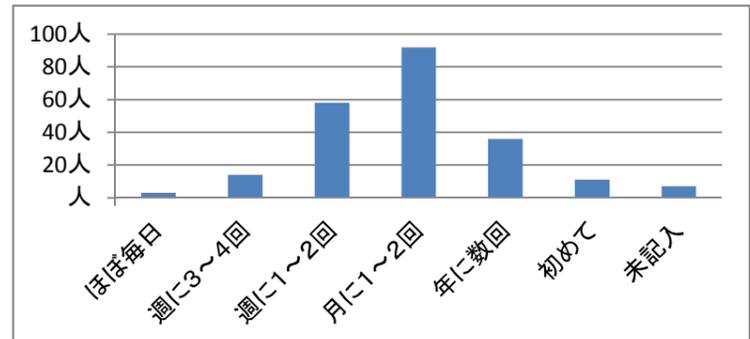
○職業



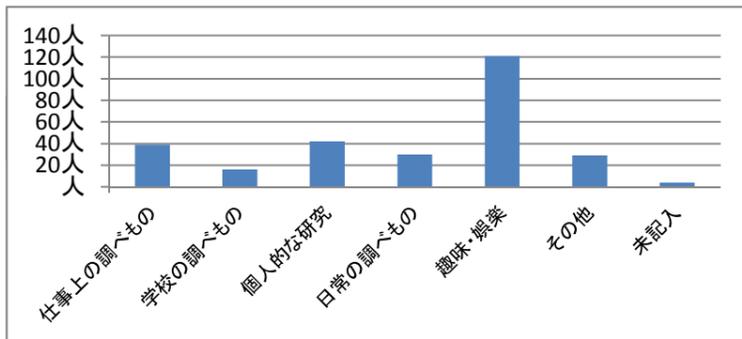
○住所



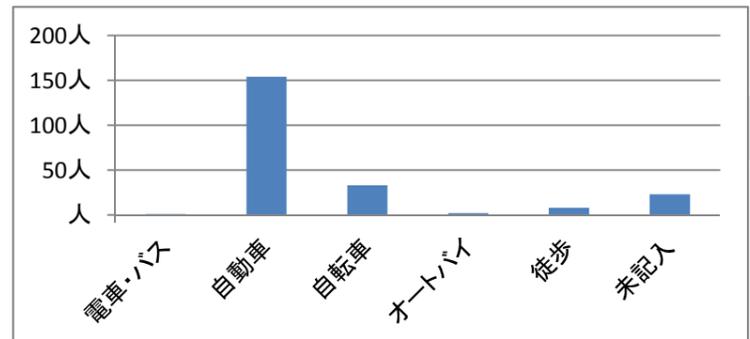
○来館頻度



○来館目的



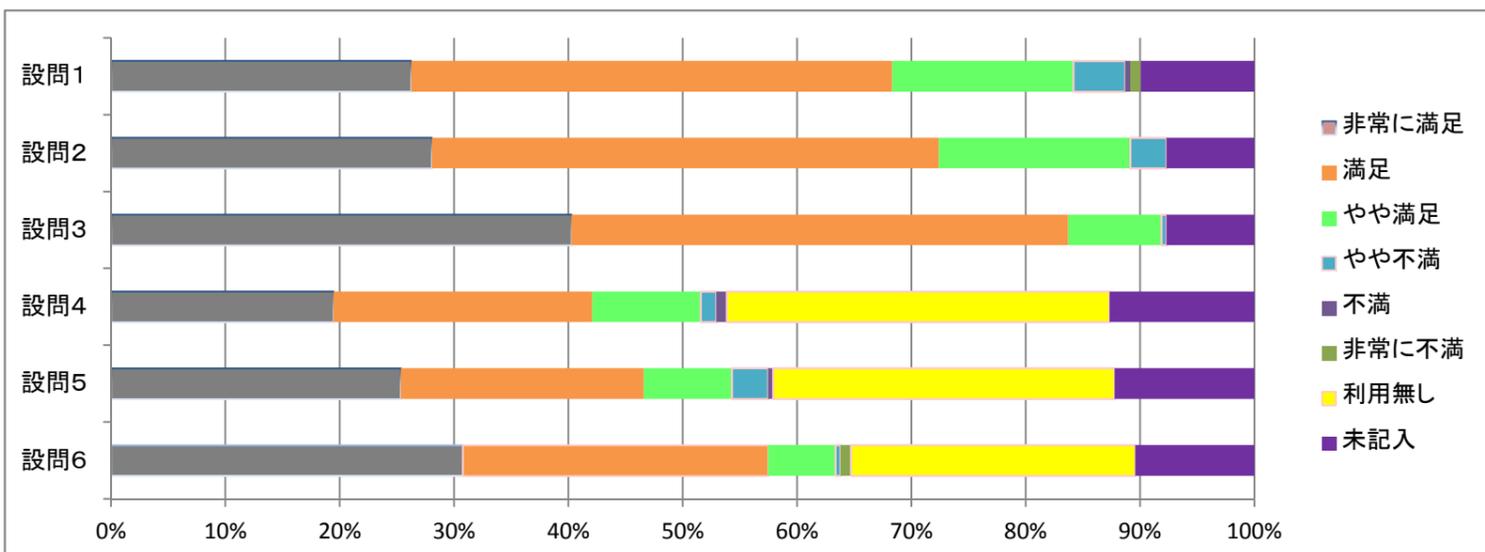
○交通手段



- ・回答者の4割以上が60歳以上で、50代、40代、10代、30代、20代の順になっています。
- ・職業については、無職が25%、次いで会社員22%になっています。
- ・住所については、「旭市」が約7割を占め、交通手段についても自動車で来館される方が約7割となっています。
- ・来館目的については、「仕事上の調べもの」・「学校の調べもの」・「個人的な研究」・「日常の調べもの」が合わせて45%、「趣味・娯楽」が43%となっています。

共通設問

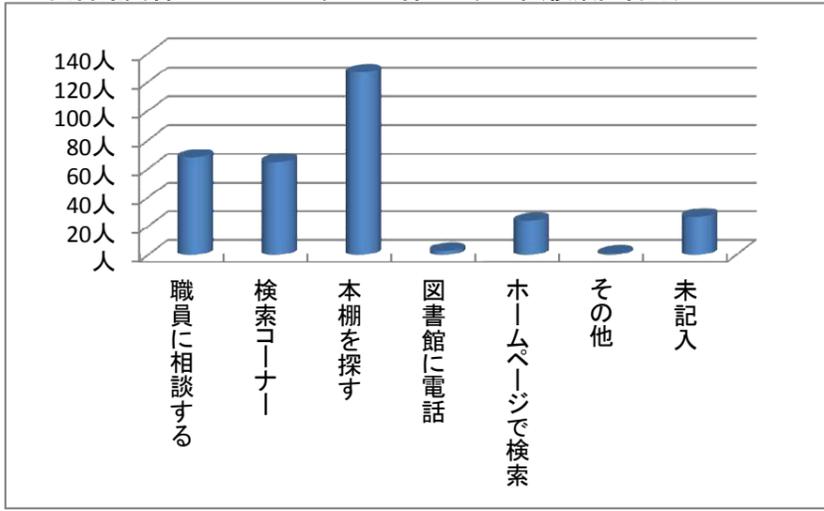
- ①お探しの本(資料)は利用できましたか。
- ②館内案内図や書架の表示、カウンターの表示などは、わかりやすいですか。
- ③職員の対応はいかがですか。
- ④他の図書館からの本の取り寄せの期間や手続きはいかがですか。
- ⑤資料検索機、インターネット等のパソコンでお探しの情報は得られましたか。
- ⑥調べものや探している本のことで、職員に相談したときの回答は的確でしたか。



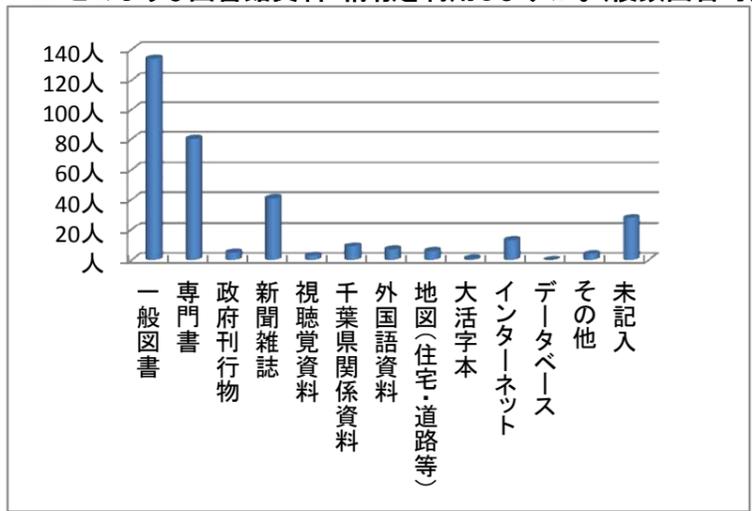
サービスの満足度について、すべての項目で「未記入」を除いた7割から9割の方に「非常に満足」又は「満足」と高い評価をいただきました。設問4から設問6については「利用無し」又は「未記入」回答の方が昨年同様多く、回答者全体の約4割を占めています。

東部図書館設問

1. 図書館資料は主にどのようにして探しますか。(複数回答可)



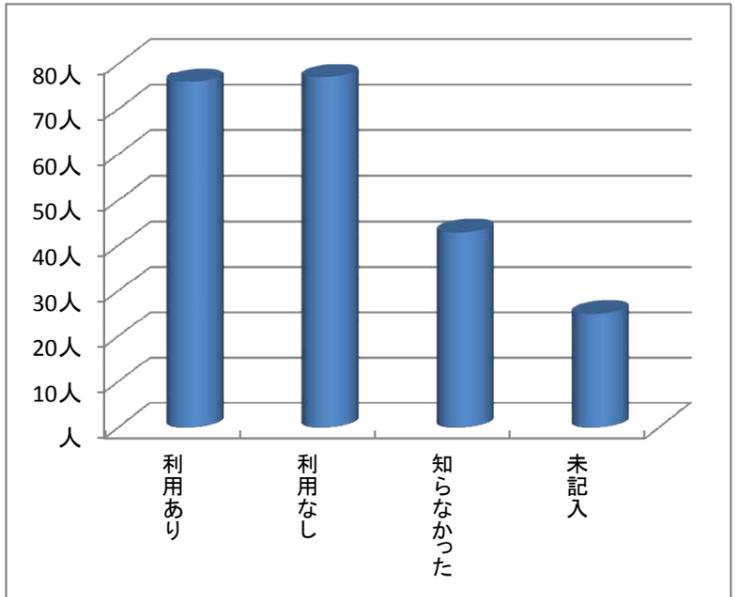
2. どのような図書館資料・情報を利用しますか。(複数回答可)



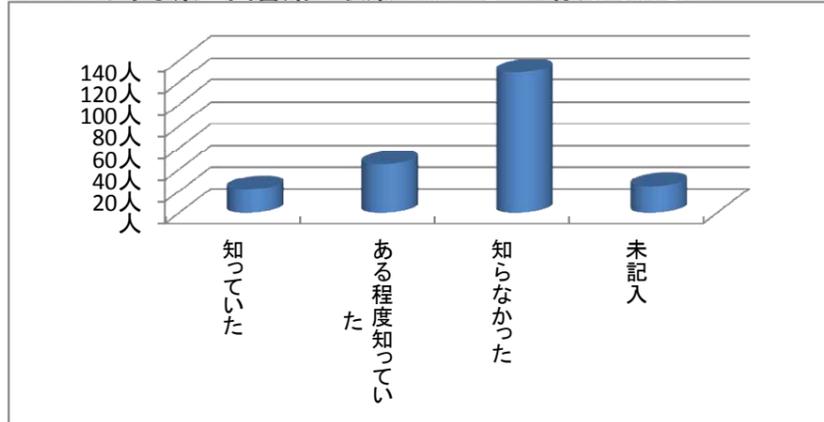
県立図書館では、限られた予算を有効に使うため、各図書館の重点収集分野を以下のように定め、3館での重複を避けた資料収集をしています。

中央図書館: 社会科学など下記以外・千葉県関係・児童資料
 西部図書館: 自然科学・技術・工学
 東部図書館: 文学・歴史

4. 他の図書館の本を県立図書館に取り寄せたり、県立図書館の本をお近くの図書館で取り寄せたりして利用できることを知っていますか。



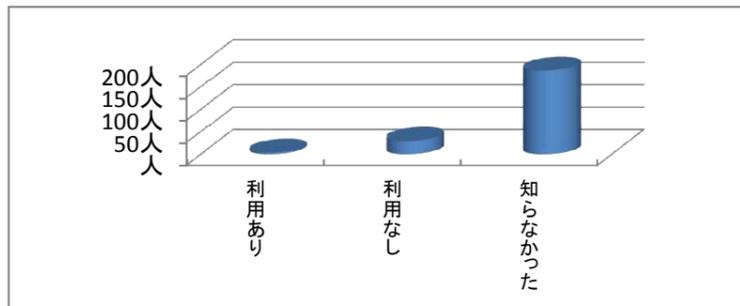
3. このような県立図書館の収集のしかたはご存知でしたか？



5. 当館では次のようなサービスを行っています。利用したことのあるものには◎印を、利用したことはないけれどご存知のものには○印をつけてください。(複数回答可)

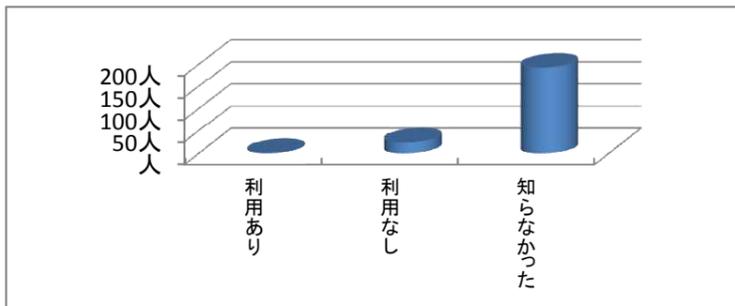
(1). メールレファレンス

(調べものの相談を図書館ホームページからメールで受け、メールで回答します)



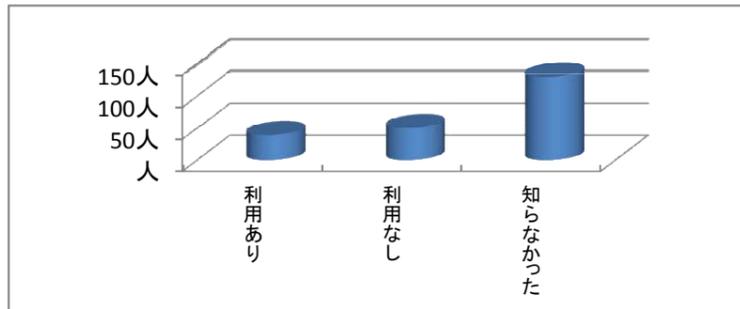
(2). 情報収集の道しるべ[パスファインダー]

(調べものの手順を紹介したチラシを用意しています)

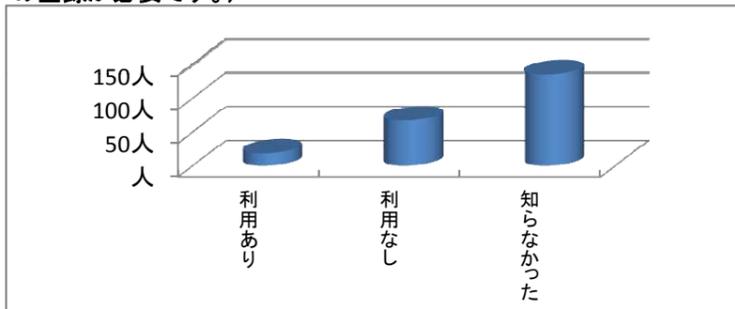


(3). 県立図書館のホームページの閲覧

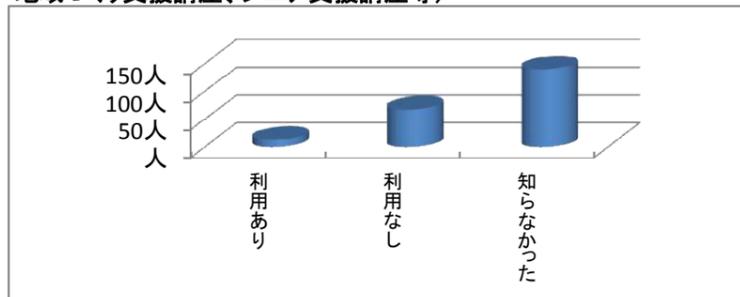
(図書館からのお知らせ、各種サービス内容が閲覧できます)



(4). 県立図書館ホームページから本の検索や貸出予約(ホームページ検索し、予約できます。事前にカウンターで仮パスワードの登録が必要です。)



(5). 講座(名作映画鑑賞会、図書館ナビ、文学・歴史講座、地域づくり支援講座、シニア支援講座等)



・ホームページを利用したことのある方が2割(うちマイブラリーに登録している方が1割弱)と、依然として図書館情報システムの利用が少なく、また、3館の分担収集を知っている方は4割に満たず、資料の相互利用が可能なことを知っている方は8割(うち利用は4割)と、資料の分担についての認知度は昨年あまり伸びていません。皆さんが探している資料や情報を得やすいように、館報や図書館ナビ等でホームページの紹介や利用方法の説明を行い、利用促進に努めてまいります。

**アンケートにご協力いただき
 ありがとうございました**